

テレワーク推進に向けたタブレットシステム構築 - 佐賀県庁様導入事例 -

概要

テレワークの利用を促進し、従来以上に市民満足度の高い業務スタイルを構築することが必要だった。また、市民の生活習慣病を予防するため、これまで保健師による保健指導に力を入れていたが、もっと“効率的”かつ“効果的”な保健指導へと変革するためにタブレットシステムを提供。

- ① 現場を第一に行政サービスの質の向上を目指し、全庁テレワークを実現するため、タブレットを導入
- ② 「仮想デスクトップ」「TV 会議システム」等を活用し、オフィスにとられないワークスタイルの実現
- ③ タブレットには重要なデータを保存できなくし、故障・紛失時のセキュリティリスクを軽減
- ④ 「電子マニュアル」「動画プレゼン」等を活用した保険指導の実施

イメージ図



重たい紙の資料を持ち運ばなくても、クラウド上に保存された資料を使って的確な保健指導が行えるように



低体重で生まれた赤ちゃんのいる家庭に保健指導動画を実際の作り方を見せながら、離乳食について説明

出展 : business network.jp

効果・成果

- ① 在宅勤務・サテライトオフィス・モバイルワークが効果的に活用され、県民の皆様と多くの時間接することができ、「業務効率化」「行政サービス向上」の効果が現れている。
- ② 現場でも庁内システムにストレスなく接続でき、タブレットには重要なデータを保存しないことで、セキュリティと故障・紛失時の不安が解消。
- ③ 全庁テレワークの一環としてサテライトオフィスを開設したことで、通常業務での移動時間の削減だけでなく、パンデミックや災害発生時の行政サービスの継続が可能。
- ④ 保険指導の訪問準備にかかる時間が1回当たり10分短縮。動画を使った説明など保健指導も充実した。また、ペーパーレス化により、1万枚分の用紙代と印刷代が削減。

担当部署

KDDI 株式会社（東京都千代田区飯田橋3丁目10番10号 ガーデンエアタワー）

担当者：ソリューション推進本部 ソリューション企画部 E-mail:solp-plan1@kddi.com

URL : <http://www.kddi.com/>